

## 海のごみ拾い 郷土クラブ



海岸のごみを拾い集める子どもたち

妹背牛町内の小学生でつくる「郷土クラブ」のメンバーが5月17日、留萌市内のゴールデンビーチで行われた清掃活動「Hokkaido海のクリーンアップ大作戦！」(コープさっぽろ主催)に参加しました。海洋プラスチックごみの削減をめざす清掃活動の一環。

この日は、郷土クラブのメンバーとその保護者、中学生が海岸に流れ着いたビニール袋やロープなどのごみを熱心に拾い集めました。

## フォルティウス 妹背牛合宿



トレーニングに励むフォルティウスのメンバー

妹背牛町応援大使を務める女子カーリングチーム「フォルティウス」(札幌)の選手たちが5月10日から3泊4日の日程で町内で合宿し、フィジカルトレーニングに取り組みました。

初日は、選手5人とコーチ1人が町役場を訪問。滝本昇司副町長から妹背牛産米10<sup>kg</sup>が贈られたチームのスキップ、吉村紗也香選手は「おいしいお米のパワーで力をつけて、オリンピックに出場したい」などと抱負を述べました。

## 毎週木曜日「わかち愛かふえ」



バラエティに富んだメニューが人気の「わかち愛かふえ」

妹背牛産米のおにぎりと彩り豊かな惣菜、お米を使ったおやつなどを提供する「わかち愛かふえ」が6月にオープンし、毎週木曜日にわかち愛もせうしひろば内で営業しています。

町内の「炭焼きのんす」と「ひよっこりおにぎり」、深川市の「のがみFarm kitchen」の3店が出店。軽食や丼物、ドリンクなどのメニューを週替わりで販売し、昼食時には列ができる人気ぶりです。訪れる人たちの舌を楽しませています。

## 「蒸し春巻き」づくりに挑戦!



協力隊員(中央)から、ベトナム料理の作り方を教わる子どもたち

ベトナム人の地域おこし協力隊員がベトナム料理の作り方を教える「ベトナム文化にふれてみよう」が5月24日、町保健センターで開かれ、町内の親子4組・11人が「蒸し春巻き」づくりに挑戦しました。

子どもたちは、米粉やタピオカ粉、こめ油を混ぜた生地を薄く伸ばしたりする工程を楽しみました。ひき肉や野菜などを炒めた具を包んで完成させると、参加者全員でおいしそうに味わいました。

## ヨサコイ「りむせ」札幌で演舞



息の合った踊りを披露する「りむせ」のメンバー

北空知近郊のヨサコイチーム「もせつしRIMUSE(りむせ)」は、6月上旬に札幌市・大通公園周辺で開催された「YOSAKOIソーラン祭り」に出場し、迫力ある演舞で観客を盛り上げました。

この日のために練習を重ねたメンバーは躍動感あふれる演舞を、全7会場で披露。踊り終えるたびに会場から大きな声援と拍手が送られました。

## 本格ピザ 竹島さんご夫妻が協力隊に



地域おこし協力隊に着任した竹島さんご夫妻

キッチンカーで本格的なナポリピザの移動販売をしている竹島明弘さんと妻の実千嘉さんが6月、妹背牛町の地域おこし協力隊に着

任しました。

明弘さんはこの道10年以上のピザ職人。旭川市を中心にまき窯で香ばしく焼いたピザを提供しており、モチモチとした食感の生地が好評です。

今後は特産品を使ったピザの開発や町内に店舗を構える計画で、竹島さんご夫妻は「妹背牛を盛り上げていきたい」と話しています。

## 台湾の中学生 田植えを見学



田植えの様子を見学する台湾の中学生

台湾北部の桃園市立東興国民中学校の1年生4人が5月20日から1泊2日の日程で妹背牛町に滞在し、地域住民と交流を深めました。

農村生活体験をサポートしている「元気村・夢の農村塾」のメンバーが受け入れました。

中学生は教育旅行の一環で妹背牛町などの北空知を訪れ、田植えの様子などを見学。苗の大きさに驚く生徒もいました。

## 花とライトで町を明るく 「歩花灯」



鉄製のスタンドに花のプランターを取り付ける青年部員

花のプランターとライトが付いたスタンドを並べて町内中心部を彩る「歩花灯」(ぼかつと)の設置作業が6月6日、妹背牛商工会

館の周辺で行われ、商工会の女性・青年部員らが作業に汗を流しました。

プランターを取り付ける鉄製のスタンド110基を設置。白や赤など色鮮やかな花を植えたプランターを取り付けた後、女性部員らは、ごみ袋と火ばさみを持って、町内中心部の清掃活動も行い、景観を整えました。